

# 自民でも立憲でもない第三の選択肢を！

**政治は本来、私たちが力を出し合い、その力で私たち自身が幸せになるためにある。**それは私の信念です。しかし、その力を途中で横取りしようとする人々もいる。裏金問題はその典型です。しかし、今、野党の中にも私利私欲や個人的野望のためにこの力を悪用する政治家がいます。

私は経済的に苦しい家庭で育ち、新聞配達をしながら大学に通いました。政治家になりたいと考えたのは中曽根政権に危機を感じた小学生の頃です。

2006年に港北区で政治活動を始めてからこれまで **延べ3万5千軒以上のお宅を訪ね皆様のお声を伺って来ました。**その経験を元に本当に国民目線で生活や暮らしのニーズに寄り添った政治を実現したい。また、かつての立憲民主党が捨ててしまい、自民党ではそもそも実現できない、**脱原発・脱炭素の社会、草の根民主主義。憲法の平和理念を具体の形で世界に広げること。助け合いに基づいた社会と経済。子どもの権利やジェンダー平等。一人一人が大切にされ、善く生きられる『リベラルな共同体』、互いへの信頼と尊重に基づいた『私たちの政治』を創りたいのです。**

立憲民主党の野田佳彦代表は、**原発ゼロを事実上撤回、安保法制における解釈改憲も容認**しました。改憲右派が党の要職を占め、今や**第二の維新の会**とも言える状況です。今、改憲が提案されれば、自民、公明、維新に立憲の大半が加わり、**国会での改憲発議が可能な2/3を超える可能性があります。**そもそも、脱原発と安保法制反対は、立憲民主結党の基軸でした。代表によるそれらの否定は、かつての立憲民主党が消滅したことを意味します。野田氏に代表選への出馬を要請し、選対事務局長を務めた中谷一馬氏の責任は重大です。そして、野田氏や中谷氏ら立憲右派は、自民党と同じ新自由主義。裏金問題の追及も中途半端。これではとても**自民党への対立軸とは言えず選択肢になりません。**

**日本の流れを変えるために、第三の選択肢が必要です。**

**あなたの一票を、私、大野拓夫に託してください。**

衆議院神奈川県第7区 候補者 **大野拓夫**



元衆議院議員  
政策担当秘書  
現役パパ

# 自民でも立憲でもない第三の選択肢！

## 大野拓夫プロフィール

1968年愛知県津島市生まれ。大曽根台や日吉本町にも住み現在大倉山在住。チェルノブイリ原発事故をきっかけに環境問題に関心を持つ。新聞奨学生として大学生活を始める。大学時代に国際環境NGO(A SEED JAPAN)を立ち上げ、1992年国連主催の地球サミット準備会合に日本のNGO代表団として参加。その後、フェアトレード事業や林業経営に携わる。2001年から参議院議員中村敦夫(木枯らし紋次郎)公設秘書、環境政党みどりの会議事務局長。2007年と2011年横浜市議選に港北区で挑戦も共に次点。2012年、民間シンクタンク事務局長として民主党政権の「脱原発ロードマップ」作成を担う。その後菅直人元総理秘書として立憲民主党結党に携わる。同党の衆議院議員や参議院議員政策担当秘書として国会質問作成等を担当。映画「太陽の蓋」アソシエイトプロデューサー。「もう原発は要らない」(ほんの木)他編著書多数。好きなもの：アウトドア、畑、ポップアート、ル・コルビュジエ、坂本龍一。

# 大野拓夫

たくお

無所属

私も応援しています。



横浜市会議員 無所属  
元ICUチアリーダー  
現役ママ議員

**大野トモイ**